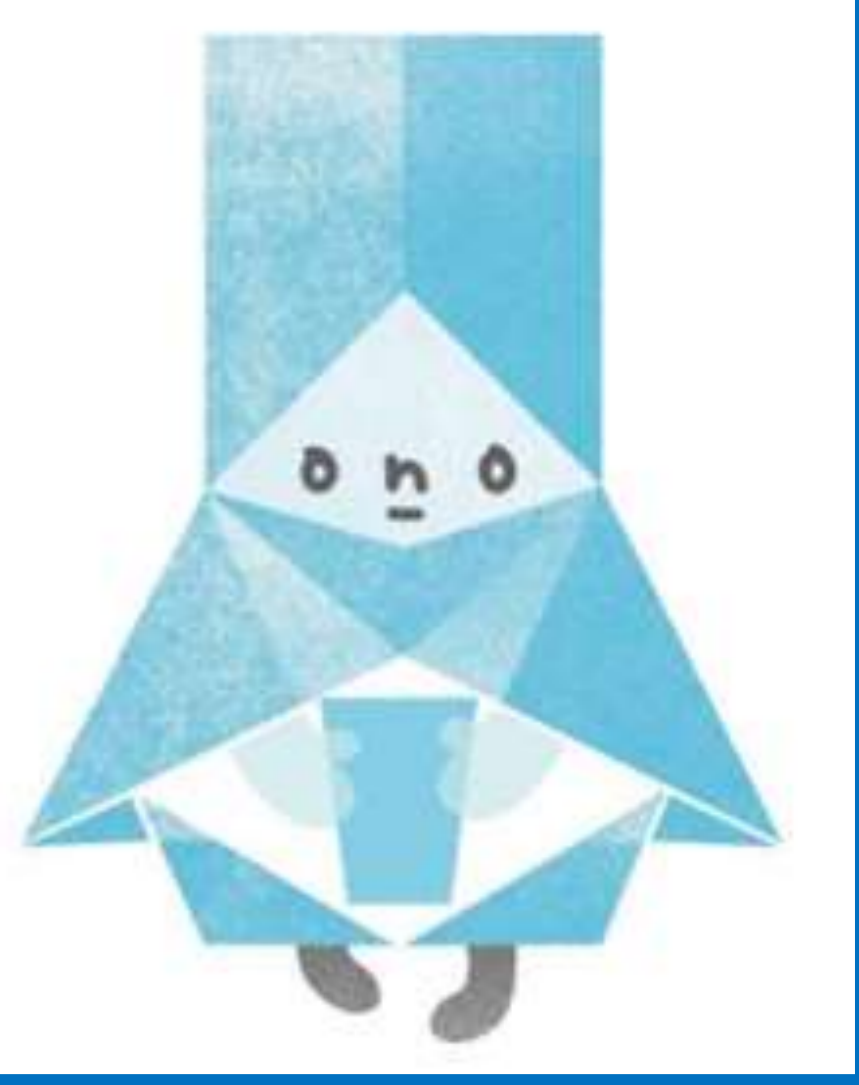


# 福井県立大野高等学校

ゆい

## JRC「結」



高校生ボランティア・アワード2023



### 「結」の心で地域を結ぶ ～水と繊維でつなぐ&すこ。～

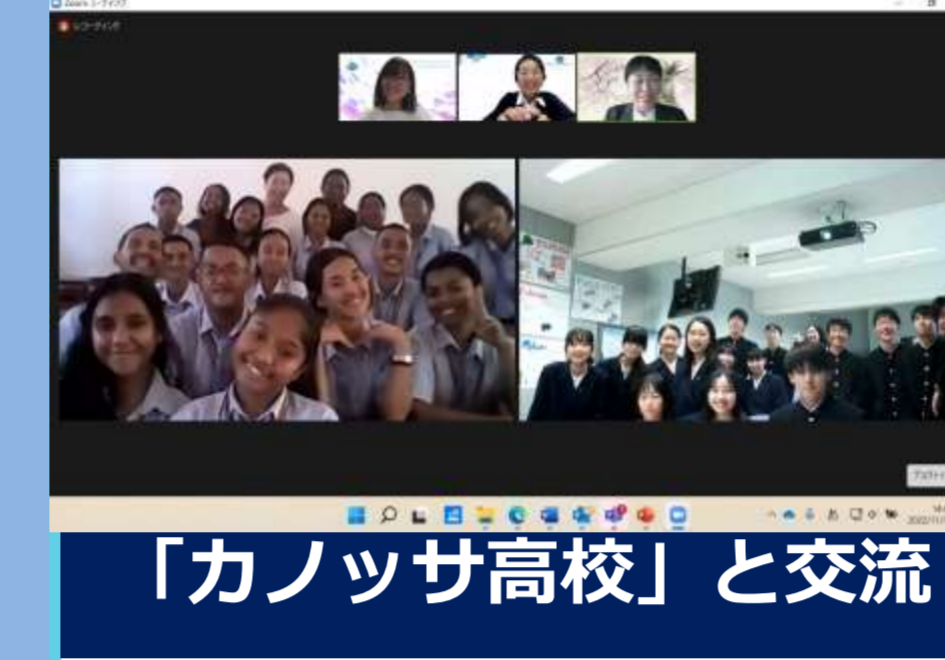
活動の詳細(実施内容/成果・実績など)  
私たちが豊富に持っているもの、この町 越前大野で  
**余裕があるもの**を皆でシェアして役立ちたい！  
大野市と言えば「名水」。福井県と言えば「繊維」。  
私たちの**地域の強み**を生かして、  
世界の困っている地域や人々に何か  
できないか考えました。

#### 「結」の心で役に立つ ～海を越えて「結」～

1. **東ティモール 水支援**「名水マラソン、チャリティーコンサート」
  2. **パキスタン 教育支援**「古着おすそわけプロジェクト」
  3. 「チャリティー」実施 **ウクライナへ人道危機救援**
  4. 「エコキャップ回収」「古本市」で**環境保護、途上国へワクチン支援、高齢者・障がい者雇用促進**
  5. 「パキスタン洪水」「トルコ・シリア地震」**義援金運動**  
～地域のために「結」～「世代をつなぐ」
1. **「すこスコーン」** 特産物里芋の茎をスイーツに
  2. 大野市**福祉協議会**と連携  
**お年寄りスマホ入力サポーター**
  3. 七間商店街×**オレンジリボン**  
**(子ども虐待防止啓発) 運動**
  4. **伝統をつなぐ**：大野市**弓道連盟**と技をつなぐ  
**青葉の笛づくり**と演奏、**ふるさと絵師**
  5. 令和4年7月大雨災害義援金運動



東ティモールへ水支援



「カノッサ高校」と交流



古着をパキスタンへ



「すこスコーン」開発

### 「水」の町ができること

#### 活動の目的・志など 「名水」

私たちの町、大野市は緑豊かな大野盆地にあり、冬には東京の6倍の降水量があります。この町は「天然の水瓶」。市内に数多くある清水(しょうす)から年間通しておいしい水が湧き、日本の「名水百選」にも選ばれています。私たちは日々、この水を守って農作物を作り、地域で互いに**結**い合っ(助け合っ)てきました。

#### 「進取の気象(気性)」

大野高校の校歌にも歌われる「**大野丸**」。それは江戸時代に樺太と交易をしていた洋式帆船です。山に囲まれた小さな大野藩で、私たちの祖先は「**未来を見通し**」蘭学を学び、「**勇気を持ち**」荒海を越えて北へ航海しました。遠くの地域と**結**の気持ちで縁を結んできました。私たち大野人・ゆいびとは、この精神を受け継いでいます。最近では「**デジタル大野丸**」をキーワードに、電子メールやオンラインで遠い地域とも交流できるようになってきました。

- \* 東ティモールの山間部では、**きれいな水**を利用するのが困難です。
- \* **パキスタン**のスラム地区では、**貧困や児童労働・児童婚**のため、多くの子どもや女性は**学校**に行けません。
- \* **ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツ**では子どものためのワクチン、医療物資が不足しています。
- \* **日本**では**食品ロス**など**食糧問題、環境問題**の他、子どもや高齢者、障がい者、**災害**などで支援が必要な人がいます。
- \* ここ大野市も少子高齢化で地域の**伝統文化の継承**が危機に。



何か、私たちにできることがあるはず

### 「すべての子どもに水と教育を」「就業のジェンダー平等を」

1. 東ティモールの山間部ではきれいな水が手に入りやすく、**女性と子ども**が毎日遠くまで水くみに歩きます。このため、多くの子どもは学校に通えず、女性は仕事に就けません。



私たちの町で58年の歴史をもつ「**名水マラソン**」。給水所では、おいしい地下水や名水かき氷が提供されます。**2016年から3年間**大野市はユニセフと協働して「**1キロ走ると東ティモールの水設備に10円が寄付される**」システムを行いました。これにより**6基の重力式給水設備**が造られました。



昨年の第58回大会からは大高生が**ボランティア**として会場案内、給水所、荷物預かり所、スタート・ゴール誘導など運営に参加しています。小中学生以来連続出場している**ランナー**もいます。59回大会では**東ティモールの水不足の現状をパネルにし、支援募金**も集めました。



今では、村にきれいな水が供給されるようになり**子どもたちが学校に行ける**ようになり、**女性も**農業を始めたり、水管理技士として**仕事**に就くことができるようになりました。**今後も管理が必要です**。昨年11月には、**東ティモール大使館やマダレナ・カノッサ高校**とオンラインで8日間交流しました。今年は「第59回名水マラソン」の他、「第14回 煙草祭(文化発表会) 合唱部コンサート」でも**水支援募金**を集め、東ティモールの給水設備の修繕・管理のため、支援を続けています。

「水と教育とジェンダー、つながる」

2. **パキスタン**のスラム地区に…2021年夏、福井県で「全国高校総体」が開催されました。大会終了後、役員やボランティアに支給された大量の**福井産「インターハイシャツ」**が不要になり…



調べてみると、**JFSA**を通して古着を**パキスタン**へ送ると、スラム地区に住む子どもの学校「**アル・カイル・アカデミー**」の運営にそれらの収益が使われると知りました。校内で過去の学校祭Tシャツなども含め毎年**古着を集め**、これまでに**56着**をJFSAへ送りました。会報によると昨年同校から**初めて女子学生が医科大学へ進学**したそうです。**フシラさん**▶



3. **つなぐプロジェクト**：ICT力を駆使して**大野市と遠くの地域**をつないでいます。また、私たち高校生が「お年寄りと子どもの真ん中の世代」として、**多世代交流**を行っています。
    - ・東ティモール支援：JENESYSオンライン派遣で大使館や「マダレナ・カノッサ高校」と交流。
    - ・ウクライナ救援：「チョコレート・チャリティー」「イースター・チャリティー」や「折りの歌募金(合唱部と協働)」と工夫し、ウクライナ人道救援募金を集めました。
    - ・「令和4年7月大雨災害」「パキスタン洪水」「トルコ・シリア地震」の義援金運動を市のイベントで行いました。
    - ・**子ども虐待防止啓発運動**毎年10月「七間商店街ハロウィン×オレンジリボン運動」で呼びかけ、社会福祉協議会では**世代を超えたパネルディスカッション**、6月「お年寄りのスマホ支援員」として**高齢者のスマホ操作**をヘルプしました。
    - ・地域の伝統文化をお年寄りから学び、小学生へ伝えています。**小学生弓道ウィーク**、平安時代から伝わる**青葉の笛**を継承。**ふるさと絵師**が御清水を水彩のちょうちんで装飾、**黒板アート甲子園「福井の魅力詰め込んで」**制作
    - ・年間通して**エコ活動**を実施。
- エコキャップ回収**：途上国へ医療支援  
**高齢者・障がい者就労支援** CO2削減  
**古本市**：売上を赤い羽根共同募金へ

### Respect For All ～すべての人・モノへの尊重～

- ・私たちは人口30,745人の小さな盆地の学生ですが、**コスモポリタン**として世界に貢献しようとしています。
- ・世界を知り、自分を知る。困っているところはないか、私たちが役に立てることはないか。手を伸ばし、遠い国ともつながる。「結」の心で未来を創る。
- ・「**全ての人・モノ**の存在自体に価値があり、軽んじられるべきではない」と考えています。これからも**「全てを尊重し、ここから持続可能な未来へ繋げる」**という精神で「気づき・考え・実行する」ボランティア活動を続けていきます。
- ・今後「すこスコーン」の試作を重ね、9月 学校祭、11月「産業と食彩フェア」で販売予定です。



### 福井県立大野高校 JRC「結」

2019年に3年後の「全国高校総体北信越大会」開催に向けて「生徒活動委員会」を結成。福井県へのおもてなし活動を行ってきました。大会開催以降も「地域のため、世界のため」にチーム「結」としてボランティア活動やSDGs達成のためのイベントを続けています。2021年には**JRC「結」**としてサークルを設立。県内や全国JRCとの交流、海外支援も始めました。12名のメンバーは、若い発想と体力、地元とのつながり、絆を生かし、参加しやすく「楽しい」ボランティア活動を目指して地域課題を探究し、創意工夫して「結」の心で活動しています。

ざぶんSDGs大賞 2022  
「GLOBAL SDGs賞」「環境大臣賞」